

4 平成 27 年度鎌倉市行政外部評価公開意見交換会の概要

(1) 実施要領

ア 目的

市民から施策全体の進め方に関する意見、また、効率的・効果的に施策を進めていくにあたっての事業の軽重に関する意見等をいただき、これを参考として行政外部評価を実施すること、またこれを通じて参加者の皆様へ鎌倉市の行政評価への理解を促すことを目的として、スポット評価の一部として、行政外部評価公開意見交換会を行いました。

イ 内容

参加者に、行政評価及び公開意見交換会実施の趣旨をご説明した後、「子育て（主に子育て支援事業、保育所等整備事業）」と「歴史環境（主に史跡整備・文化財関連）」の2つの分野における公開でのスポット評価を実施しました。

スポット評価では、まず原局から鎌倉市民評価委員会への事業内容等の説明を行い、これを受けて次に原局と鎌倉市民評価委員会による意見交換を行いました。その後、鎌倉市民評価委員会が参加市民との意見交換を行い、最後に原局・参加市民との意見交換を踏まえた鎌倉市民評価委員会委員によるまとめを行いました。

また、最後に、参加市民及び傍聴者を対象として、アンケート調査を実施しました。

ウ 日時

平成 27 年 7 月 11 日（土）午後 1 時から午後 5 時まで。

エ 場所

鎌倉市役所第 3 分庁舎講堂。

オ 参加者

意見交換会の参加市民の募集は、平成 26 年度市民意識調査の対象とした市民 2,000 人（平成 27 年 3 月 1 日現在本市在住の 18 歳以上の方を対象とした無作為抽出によるもの）に対し、郵送により案内を送付して行い、応募のあった 20 名が公開意見交換会に参加しました。

これとは別に、傍聴者を募集し、2 名の傍聴者が参加しました。

(2) 意見交換の概要

意見交換の概要は、「3 外部評価について」の「(2) 評価結果 工公開意見交換会のまとめ」をご参照ください。

当日の会場の様子は、以下のとおりです。



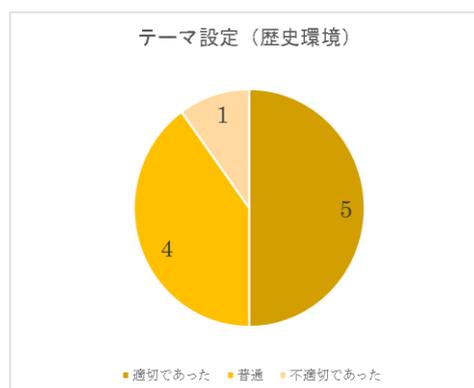
(3) アンケート調査結果

行政外部評価公開意見交換会の参加市民及び傍聴者合計 22 人を対象に、アンケート調査を行ったところ、20 人から回答を得ました。

設問は、公開意見交換会のテーマ設定について、進め方について、その他の3点について行いました。結果の概略は、以下のとおりです。

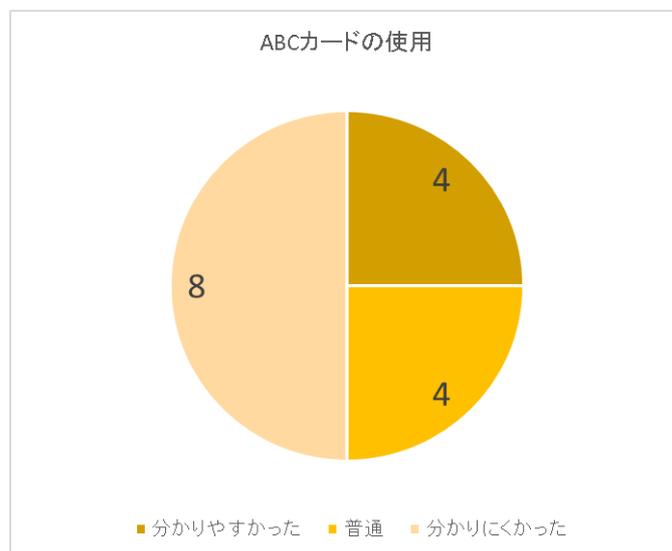
ア テーマ設定について

両テーマ共に、テーマ設定は「適切であった」「普通」をあわせると、7割以上となっており、テーマは概ね適切に設定できていたと思われます。



イ 進め方について

A、B、Cカードを使った進め方の分かりやすさについて、「分かりやすかった」「普通」の合計と、「分かりにくかった」の合計が5割ずつとなっていました。進め方の自由記述欄には、設問のポイントが分かり難かった、複雑な話題に対して限られた結論を選択しづらかったとの意見がありました。



ウ その他

その他の自由記述のうち、主な内容を以下に記載しました。

- ・ Facebook等でもっと議論できる機械を多く作ってほしいと思う。特に計画のような、実現されていないものについての評価は難しいので、深く、広範囲にしかもすべての実現項目を関連付けて吟味していく必要があるかと思う。したがって、計画→各事業間の関連性を整理して、評価のポイントを示してから意見交換を行い、さらに出てきた意見を評価ポイントと照らし合わせながら最終評価につなげていくのはどうか。
- ・ 評価してもらいたい内容をあらかじめ知らせ、大方の意見をあらかじめ書いてもらったら良いのではないか。これからはいろいろと関心を持っていきたい。
- ・ 一般市民参加の意見交換会であるが、条件として主旨を理解していないと、意見の集約は困難な感がある。
- ・ 市民の意見がいろいろ出て、大変参考になった。ポイントがずれるところもあり、まとめ役の力量が問われる感がした。
- ・ 広報紙などで何となく目にしている言葉や数字などについてしっかり向き合う機会を与えて頂いた。色々な意見が聞けて面白かった。
- ・ 市民の意見がどう反映されるのか知りたい。
- ・ 年代がかたよっている気がする。20代～40代の方の意見もほしい。
- ・ 各テーマに適した(年代、世代、含めて)市民の参加が今後必要だと感じた。
- ・ 資料は事前に配布すべき。
- ・ 基礎データとして数字資料が欲しかった。
- ・ ビジョン、戦略、戦術は分かり易いが、数値データがもっとあれば良いと思う。
- ・ 事務局サイドは議論を効率よく進めるための資料を提出すること。予算等、数値的情報が不足していた。

